

SPring-8運転・利用状況

財団法人高輝度光科学研究センター
研究調整部

平成20年5～6月の運転・利用実績

SPring-8は5月9日から6月23日までマルチバンチ及びセベラルバンチ運転で第2サイクルの運転を実施した。第2サイクルでは電磁石電源でのトラブルによる停止等があったが、全体としては順調な運転であった。総放射光利用運転時間（ユーザータイム）内での故障等による停止時間（down time）は約0.8%であった。

放射光利用実績については、実施された共同利用研究の実験数は合計420件、利用研究者は2104名で、専用施設利用研究の実験数は合計171件、利用研究者は814名であった。

1. 装置運転関係

(1) 運転期間

第2サイクル（5/9（金）～6/23（月））

(2) 運転時間の内訳

運転時間総計	約1073時間
装置の調整及びマシンスタディ等	約164時間
放射光利用運転時間	約902時間
故障等によるdown time	約7時間
総放射光利用運転時間（ユーザータイム＝ $\frac{\text{放射光利用時間}}{\text{放射光利用時間} + \text{down time}}$ ）に対するdown timeの割合	約0.8%

(3) 運転スペック等

第2サイクル（マルチバンチ及びセベラルバンチ運転）

- ・ 2/29 filling + 26 bunches
- ・ 1/7 filling + 5 bunches
- ・ 160 bunch train × 12（マルチバンチ）
- ・ 203 bunches
- ・ 11 bunch train × 29
- ・ 入射は電流値優先モード（2～3分毎（マルチバンチ時）もしくは20～40秒毎（セベラルバンチ時））のTop-Upモードで実施。
- ・ 蓄積電流 8 GeV、～100mA

(4) 主なdown timeの原因

- 電磁石電源故障によるアポート
- 冷却水流量低下によるアポート

2. 利用関係

(1) 放射光利用実験期間

第2サイクル（5/12（月）～6/21（土））

(2) ビームライン利用状況

稼働ビームライン	
共用ビームライン	26本
専用ビームライン	14本
理研ビームライン	7本
加速器診断ビームライン	2本

共同利用研究実験数	420件
-----------	------

共同利用研究者数	2104名
----------	-------

専用施設利用研究実験数	171件
-------------	------

専用施設利用研究者数	814名
------------	------

平成20年6～8月の運転実績

SPring-8は6月23日から8月4日までマルチバンチ及びセベラルバンチ運転で第3サイクルの運転を実施している。第3サイクルの運転・利用実績については次号にて掲載する。

今後の予定

(1) 8月5日から9月28日まで夏期長期運転停止期間とし、加速器やビームラインに係わる機器の改造・点検作業、電気・冷却設備等の機器の点検作業等を行う予定である。

(2) 夏期長期運転停止期間後の運転再開は9月29日からの予定で、10月30日まで第4サイクルの運転を行う。但し、9月29日から10月8日まではマシン及びBL立ち上げ調整期間・BL及び測定系調整期間としユーザーへの放射光の提供は行わない予定である。詳細な運転条件については決定しだいユーザーにSPring-8のWWW等で報告する。